

事業継続計画 (BCP)

新型インフルエンザ等感染症編
(新型コロナウイルス感染症対応)

社会福祉法人 慈永会

1. 基本方針

自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、社会に大きく影響を与える事象が多く起こる昨今。そのさまざまな事象に対応し、被害を最小限にとどめ事業を継続していくために事業継続計画（以下、BCP）を策定するものである。

本計画は、日本国内において新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の大流行が懸念される場合に備え、本法人各施設における実施すべき事前対策、感染防止対応並びに業務の継続・縮小・休止に関する行動基準・実施事項を定めるものであり、基本方針は以下のとおりである。

本計画における新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症に係る呼称は、以下「新型インフルエンザ等感染症」と称する。

①利用者の安全確保

利用者は一般人に比べ相対的に体力が弱いことに留意して感染防止に努める。

②サービスの継続

利用者の健康・身体・生命を守る機能をできる限り維持する。

③職員の安全確保

業務の特性上、職員は感染リスクが高いことに留意して感染防止に努める。

(1) 新型インフルエンザ等感染症 発生段階とステージ

発生段階		ステージ	
段階	状態		
未発生期	新型インフルエンザ等感染症が発生していない状態	ステージ0	
海外発生期	海外で新型インフルエンザ等感染症が発生した状態	ステージ1	
国内発生早期	(地域未発生期) 各都道府県で新型インフルエンザ等感染症の患者が発生していない状態		
	(地域発生早期) 各都道府県で新型インフルエンザ等感染症の患者が発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態	ステージ2	
国内感染期	国内のいずれかの都道府県で新型インフルエンザ等感染症の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	(地域感染期) 各都道府県で新型インフルエンザ等感染症の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	ステージ3
小康期	新型インフルエンザ等感染症の患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態		

※地域感染期に至らない状態で、自施設に感染者が発生した場合は、ステージ3に準じた対応を実施する。

(2) 維持すべき業務の分類

業務	内容	各拠点による業務
A	通常時と同様に継続すべき業務	食事、排泄、与薬、医療的ケア、保清(清拭等) 等
B	感染予防・感染拡大防止の観点から新たに発生する業務	利用者家族等への各種情報提供、空間的分離のための部屋割り変更、施設内の消毒・感染物の処理、来所者の体温測定、特定接種・集団接種対応 等
C	規模・頻度を減らすことが可能な業務	入浴、リハビリ 等
D	休止・延期できる業務	上記以外の業務

※本法人の組織全体を維持するために、職員への給与支払い、各種物品の調達・整備・修繕、資金繰り、取引先への支払等、人・物品・資金に関する業務も「A」に位置付ける。

(3) 主管部門

本計画における主管部門(統括)は統括責任者とする。

(4) 対応全体像

本計画において定める全体像は別紙「様式1」のとおりとする。
なお、本法人のBCPはステージ2の段階で発動する。

(5) 被害想定

本計画における被害想定は別紙「様式2」のとおりとする。

2. ステージ0における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症がまだ発生していない状況であり、対応は、計画のメンテナンス及び周知と、ステージ1以降の緊急時対応を見据えた事前準備が中心となる。

(1) 対応主管部門

統括責任者が統括し、各拠点が一丸となって対応する。

(2) 対応事項

項目	対応事項	
計画のメンテナンス	毎年下記項目についてメンテナンスを実施 <input type="checkbox"/> 定めてある業務分類は妥当か <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の情報の反映 (法の改正、被害想定の妥当性など) <input type="checkbox"/> 研修や日々の行動で洗い出された課題	
計画の周知徹底	定期的に研修・訓練等を実施 <input type="checkbox"/> 新型インフルエンザ等感染症の基礎知識の習得 <input type="checkbox"/> B C Pの内容理解 <input type="checkbox"/> B C Pの内容に沿った訓練等	
緊急時対応の事前準備	体制構築	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 緊急時の役割分担・代行者の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体統括 ・ 情報収集 ・ 利用者家族等への情報提供 ・ 感染予防対応に関する業務(B)の統括 ・ 業務継続対応に関する業務(A, B, C)の統括 等 <input type="checkbox"/> ステージ3における法人体制の在り方
	感染予防対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 利用者家族等との連絡方法の整理 <input type="checkbox"/> 職員に対して、マスク・手洗い等個人レベルで実施する対策に関する事前教育 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理 <input type="checkbox"/> 来所者向け検温ルールの整備 <input type="checkbox"/> 職員・利用者向け検温・体調チェックルールの整備 <input type="checkbox"/> ハイリスクの職員(妊婦・慢性疾患等)の把握
	業務継続対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 人員と対応能力の評価・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務A/Bを遂行するために最低限必要な人員数の把握 ・ 業務A/Bを遂行するために必要なスキルの把握 ・ 職員の家族構成、住所、通勤手段等の把握 <input type="checkbox"/> 出勤情報の集約管理、欠勤可能性検証の方法 <input type="checkbox"/> 委託業者のサービス継続対応の事前協議 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理

3. ステージ1における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等は発生しているものの、施設の周辺地域では感染者が発生しておらず、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化していない状況。したがって、ここでの対応は、感染状況を中心とした情報収集と、ステージ2以降に利用者家族等への事前アナウンスが中心となる。

(1) 対応主管部門

施設長が統括し、以下の役割を担う者が各担当業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	施設長	事務長
情報収集	事務長	生活相談員
利用者家族への情報提供	生活相談員	事務課
感染予防対応に関する統括（主に準備）	施設長	生活相談員

(2) 対応事項

項目	対応事項
情報収集	主に以下に関する情報を収集 ・ 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 ・ 国、自治体、保健所等の対応状況 ・ 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況
利用者家族等への情報提供	利用者家族等との連絡体制を構築 利用者家族等にステージ2以降実施する対応に関して、情報を事前伝達。 ・ 施設来所時のルール ※1 ・ 利用者感染(疑)時の対応 ※1 ・ 提供業務の縮小・休止 ※2 発生段階の「国内発生早期」以降は、適宜、利用者の現状等の情報を提供する。 ※1 → ステージ2参照 ※2 → ステージ2, 3参照

感染予防対応の実施	個人対応の依頼	<p>職員/職員の家族/利用者/利用者家族/委託業者等に、各々が以下を実施するように依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用 ・手洗い・うがい・咳エチケットの励行 ・ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	<p>施設入口とトイレに以下のものを配備し、使用を励行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒液 ・マスク ・フェイスガード
感染予防対応の準備	<p>以下対応を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品のチェック(補足があれば調達) <p>職員/利用者/利用者家族/委託業者等に対して、ステージ2以降実施する対応に関して情報を事前伝達する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設来所ルール ・体温、体調のデイリーチェック ・業務Dの縮小・休止 ・感染(疑)者発生時の対応 <p>※上記詳細はステージ2以降参照</p>	
業務継続対応の準備	<p>以下対応を開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤情報の集約管理、欠勤可能性検証 ・法人内での情報共有 ・過去勤務していたOB・OGへのアプローチ(ステージ3以降の臨時勤務が可能かどうか等の確認) ・委託業者の事前連携について情報共有 <p>職員/利用者に対して、ステージ3以降の実施する以下の対応について情報を事前伝達する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務A/C/Dの縮小・休止(ステージ3以降参照) 	

4. ステージ2における対応（BCP発動のステージ）

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症の感染者が施設の周辺地域で発生しており、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化している一方で、職員や家族に感染者が発生しておらず、業務継続対応に関する本格対応の必要性はまだ顕在化していない状況。したがって 対応は、感染予防対応の本格実施と、ステージ3以降に実施する「業務継続対応」に関する準備が中心となる。

(1) 対応主管部門

施設長が統括し、以下の役割を担う者が各担当業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	施設長	事務長
情報収集	事務長	生活相談員
利用者家族への情報提供	生活相談員	事務課
感染予防対応に関する統括（主に準備）	施設長	医務課
業務継続対応に関する総括	事務長	生活相談員

(2) 対応事項

項目	対応事項	
情報収集	以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 ・ 国、自治体、保健所等の対応状況 ・ 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況 ・ 職員、職員家族、利用者の感染状況 ・ その他利用者家族、委託業者の感染状況 	
利用者家族等への情報提供	適宜、以下情報を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の現状 	
の感 本染 格予 実防 施対 応	個人対応の依頼	職員/職員の家族/利用者/利用者家族/委託業者等に、各々が以下を実施するように依頼 <ul style="list-style-type: none"> ・ マスクの着用 ・ 手洗い・うがい・咳エチケットの励行 ・ ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	別表1 参照
業務継続対応の準備	以下対応を継続実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出勤情報の集約管理、欠勤可能性検証 ・ 法人内での情報共有 ・ 過去勤務していたOB・OGへのアプローチ（ステージ3以降の臨時勤務が可能かどうか等の確認） 	

5. ステージ3における対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等感染症の感染者が施設内でも発生しており、感染拡大防止に関する本格対応のみならず、業務継続に関する本格対応の必要性が顕在化している状況。

したがって、対応はステージ2から本格実施している感染予防対応の継続実施と、業務継続対応の本格実施が中心となる。

なお、小康期においては、各対応を事態の進捗に応じて段階的に縮小していく。

(1) 対応主管部門

ステージ2同様の形態で実施していく。

(2) 対応事項

項目		対応事項
情報収集		以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有 ・ 新型インフルエンザ等感染症の感染拡大状況 ・ 国、自治体、保健所等の対応状況 ・ 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況 ・ 職員、職員家族、利用者の感染状況 ・ その他利用者家族、委託業者の感染状況
利用者家族等への情報提供		適宜、以下情報を提供する。 ・ 利用者の現状
本 感 格 染 実 予 施 防 対 応 の	個人対応の依頼	職員/職員の家族/利用者/利用者家族/委託業者等に、各々が以下を実施するように依頼 ・ マスクの着用 ・ 手洗い・うがい・咳エチケットの励行 ・ ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	別表1 参照
業務継続対応の準備		別表2 参照